



2022 年も気象変動に負けない米づくり！

酒田飽海の つや姫・雪若丸情報

第4号



令和4年6月21日発行
庄内総合支庁
酒田農業技術普及課
Tel(22)-6521 Fax(22)-6522

有効茎確保期は終了間近！

生育量確保できた圃場から中干しへ！

「雪若丸」は 6/30 に生育診断を行いましょう

皆さんの「つや姫」「雪若丸」の生育状況はいかがでしょう。

東北地方は6月15日に梅雨入りし、これからは雨の多い季節を迎えます。6月20日発表の早期天候情報では、24日頃から高温となる予報で、3か月予報では暑い夏も想定されます。

管内では6月18日頃から作溝を行っている圃場がみられます。生育量が確保できた圃場から速やかに、登熟力を向上させるための作溝・中干しに入りましょう。茎数確保が不十分な圃場でも6月25日頃には作溝・中干し作業に入る準備をしましょう。

本年は、6月17日時点の土壌NH4（土壌アンモニア態窒素）残存量が平年よりやや多い傾向です。生育状況を確認しながら、遅れずに中干しを行い、適正籾数の確保を目指しましょう。

1 生育調査の結果について

6月17日の作柄診断圃等の生育調査では、いずれの圃場でも前回よりも茎数不足の解消がみられるものの、茎数は平年より不足がみえます。生育量が不足している圃場では今週前半の好天を活用し、目標茎数を確保しましょう。

表1 令和4年度「つや姫」作柄診断圃等の生育

場所	年次	移植期	6月10日					6月17日				
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	土壌NH4 (mg/100g乾物)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	土壌NH4 (mg/100g乾物)
酒田市 漆曽根	R4	5月11日	32.0	205	5.2	32.5	7.1	33.7	334	6.3	33.5	5.3
	R3	5月8日	29.7	228	7.1	38.6	4.2	36.5	393	8.3	41.1	4.0
	平年	5月11日	30.9	246	6.4	37.5	5.0	34.8	381	7.5	40.3	4.2
	平年比・差	0	104	83	-1.2	-5.0	2.1	97	88	-1.2	-6.8	1.1
酒田市 坂野辺 新田	R4	5月12日	24.8	296	6.0	35.4	4.0	26.0	428	7.1	37.6	3.8
	R3	5月13日	27.3	206	6.1	34.4	4.8	28.4	417	7.3	37.6	3.4
	平年	5月14日	28.6	226	6.3	34.8	3.8	31.2	352	7.2	37.3	2.9
	平年比・差	-2	87	131	-0.3	0.6	0.2	83	122	-0.1	0.3	0.9
指標(庄内)			27.0	250	35	6.7	-	32.6	397	7.8	37.8	-

表2 令和4年度「雪若丸」作柄診断圃の生育

場所	年次	移植期	6月10日					6月17日				
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	土壌NH4 (mg/100g乾物)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	土壌NH4 (mg/100g乾物)
酒田市 前川	R4	5月9日	22.7	259	6.5	39.7	8.3	25.8	422	7.5	44.3	4.8
	R3	5月11日	22.4	213	6.4	36.6	5.3	27.1	427	7.8	44.1	4.3
	平年	5月12日	29.6	333	6.8	41.3	6.3	32.2	488	7.9	44.0	-
	平年比・差	-3	77	78	-0.3	96	132	80	86	-0.4	0.3	-
指標(庄内)			26.0	280	41.0	6.8	-	31.6	448	8.0	43.1	-

2 「雪若丸」の生育診断～6/30の生育診断が食味・収量・品質を左右します～

「雪若丸」の生育診断は6月30日です。「雪若丸」の生育では、幼穂形成期(出穂25日)まで葉色を葉緑素計で40未満に低下させないことが重要です。現在の生育を確認し、以下の表の「生育不足」に該当する場合は、穂肥の時期を早めます。

一発肥料で穂肥施用の必要がない方もこの時期の生育に不足がないか確認してみましょう。

また、穂肥時期の遅れや過剰な追肥は、玄米粗タンパク質含有率の上昇につながります。しっかりと生育診断を行って、適期適量の追肥を心がけましょう。

表3 「雪若丸」6月30日(9.6葉期)の生育診断

生育量	茎数	葉色(葉緑素計)	追肥対応
適正	560～750本/㎡	40～44	適期適量追肥
生育不足	560本/㎡未満	40未満	早めの追肥
生育過剰	750本/㎡以上	44以上	追肥量を減らす

3 今後の管理～作溝・中干しの効果と役割～

○中干しの効果と役割

中干しは、稲体の活力を維持し、登熟を良好にし、秋作業を容易にする基本技術です。無効分げつの抑制、根の健全化、受光態勢の良化が図られます。適期に行い最大限の効果を得ましょう。

中干しの程度は、通常は「圃場に小ひびが入る程度」を目安とします。生育量が大きい場合は強めに、生育量が小さい場合は弱めにと生育量に合わせて程度を加減します。なお、大ひびが入るほど極端に強い中干しは、根を痛め逆効果になる場合があります。

中干し終了後は、走り水を行い、飽水管理(足跡に水がある程度)としてから、徐々に間断灌漑に移ります。

○作溝の効果と役割

作溝は、中干しを速やかにすすめるための重要な作業です。特に中干しの時期は、梅雨の時期と重なるため降水量が多く、十分な中干し効果を得にくいことが多いです。

作溝は速やかな排水を促し、中干しの効果を高めます。さらに、中干し終了後から登熟期までの間断灌漑の際にも圃場全体に均一に水を回す水路の役割を果たします。

中干しのタイミング ～目指せ、穂肥のできる稲姿！～

つや姫 目標穂数 440本/㎡ (株あたり20～21本)の9割

中干しの目安 ㎡あたり茎数 400本 株あたり 18～19本

雪若丸 目標穂数 580本/㎡ (株あたり27～28本)の8～9割

中干しの目安 ㎡あたり茎数 460～520本 株あたり 22～25本

(いずれも株あたり本数は70株/坪の場合)

「雪若丸」は6月30日、「つや姫」は7月10日が穂肥前の生育診断です。

適期の作溝・中干して生育を整えましょう。

4 目標の生育量について

6月30日までの目標生育量は、右表のとおりです。「つや姫」、「雪若丸」どちらの品種も目標の生育に近づけることが、収量の安定化と高品質・良食味生産に近づきます。

表4 目標とする生育

品種名	時期	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉色(SPAD)	葉数(枚)
つや姫	6月20日	35	460	39	8.3
	6月30日	45	540	40	9.3
雪若丸	6月20日	34	520	44	8.5
	6月30日	45	670	42	9.6



「農作業事故防止」&「熱中症予防」で安全作業を!